

## 2013.5.30 参議院厚生労働委員会での質疑応答より

写真は、4.27 福祉と医療・現場と政策の「新たなえにし」を結ぶ会より

### 参議院議員・川田龍平さん

先月になりますが、榎屋副大臣は「日本にも本格的な国家戦略を」と題する大討論会にパネラーの一人として参加されていました。私も客席でかかせていただきました。

若年認知症当事者のお二人が、それぞれしっかり自分を分析され、自己決定のもとに自分の生き方を決めていたことを、榎屋副大臣もご記憶だと思います。日本各地、そして諸外国での実践例についても紹介されていました。



国としても、認知症当事者の立場から、当事者の意見を聴きながら政策立案をする必要があるのではないかと思います。自分自身、体験からも強く思い、国会で仕事をさせていただいています。

榎屋副大臣ご自身の言葉で、今後の精神保健の在り方のビジョンを語っていただけないでしょうか。

### 厚生労働副大臣・榎屋敬悟さん

「認知症施策を国家戦略として取り組むように」と、こういう大きなシンポジウム、確かに私も出させていただきました。

認知症施策が極めて大きなテーマになっている、避けて通れない課題であると。民主党政権のときでありましたが、全面的にとらえて方向性を打ち出されたということは、私は高く評価したいと思いますし、そうした方向性を、政権交代になりましたけれども、しっかり意識しながら取り組んでいかなきゃならぬという風に思っている次第でございます。

### 川田龍平さん

是非、進めていただきたいと思います。

